

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分  
 【発行日】平成 21 年 8 月 27 日 (2009.8.27)

【公開番号】特開 2008-13284 (P2008-13284A)  
 【公開日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-003  
 【出願番号】特願 2006-183895 (P2006-183895)  
 【国際特許分類】

B 6 5 H 29/70 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【 F I 】

B 6 5 H 29/70

G 0 3 G 15/00 5 3 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成 21 年 7 月 3 日 (2009.7.3)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

シートの第 1 方向のカールを補正する第 1 カール補正手段と、前記第 1 カール補正手段の下流に設けられ、シートの前記第 1 方向と反対の第 2 の方向のカールを補正する第 2 カール補正手段とにより、カールを補正しながらシートを搬送するシート搬送装置において、

前記第 1 カール補正手段のカール補正量及び前記第 2 カール補正手段のカール補正量を決定するカール補正量決定手段と、

前記カール補正量決定手段によって決定されたカール補正量を修正するために、修正するカールの方向とカール量とに係る修正値を手動入力するための入力部と、を備え、

前記カール補正量決定手段は、前記入力部に入力された修正値を分配して前記カール補正量決定手段が決定した前記第 1 カール補正手段のカール補正量及び前記第 2 カール補正手段のカール補正量を変更することを特徴とするシート搬送装置。

【請求項 2】

前記修正値に応じ、前記第 1 カール補正手段及び前記第 2 カール補正手段のうち前記修正値として入力された修正するカールの方向と逆方向のカールを補正するカール補正手段のカール補正量を減少させることを特徴とする請求項 1 記載のシート搬送装置。

【請求項 3】

前記修正値が、前記第 1 カール補正手段のカール補正量及び前記第 2 カール補正手段のカール補正量の一方を変更することで対応できない修正値であった場合には、前記修正値として入力された修正するカールの方向と逆方向のカールを補正する一方のカール補正手段の補正量を最小とし、他方のカール補正手段の補正量を増加させるように前記修正値を分配することを特徴とする請求項 1 または 2 記載のシート搬送装置。

【請求項 4】

前記修正値として入力された修正するカールの方向と逆方向のカールを補正する一方のカール補正手段の補正量が最小の場合は、他方のカール補正手段の補正量を増加させることを特徴とする請求項 2 記載のシート搬送装置。

【請求項 5】

前記第 1 カール補正手段のカール補正量及び前記第 2 カール補正手段のカール補正量に上限値を設け、

前記修正値に対応させようとする前記第 1 及び第 2 カール補正手段のカール補正量が上限値を超える場合には、前記第 1 及び第 2 カール補正手段のカール補正量を上限値に制限することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載のシート搬送装置。

【請求項 6】

前記第 1 及び第 2 カール補正手段のうちの、前記カール補正量決定手段が、補正力を最小値と決定したカール補正手段に前記上限値を設けることを特徴とする請求項 5 に記載のシート搬送装置。

【請求項 7】

前記第 1 及び第 2 カール補正手段のカール補正量の上限値は、シートの種類に応じて変更されることを特徴とする請求項 5 又は 6 記載のシート搬送装置。

【請求項 8】

前記第 1 及び第 2 カール補正手段のうちの、前記カール補正量決定手段が、補正力の値を最小と決定したカール補正手段のカール補正量に上限値が設定され、前記上限値を超えるような修正値の入力を前記入力部に対して行えないようにしたことを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載のシート搬送装置。

【請求項 9】

前記上限値は、シートの種類に応じて変更されることを特徴とする請求項 8 記載のシート搬送装置。

【請求項 10】

前記カール補正量決定手段は、シートに転写されるトナー量またはシートの種類に基づいて第 1 及び前記第 2 カール補正手段のカール補正量を決定することを特徴とする請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載のシート搬送装置。

【請求項 11】

画像形成部で形成された後、シートに転写されたトナー像を定着させる定着手段と、前記定着手段を通過したシートを搬送する請求項 1 ないし 10 のいずれか 1 項に記載のシート搬送装置を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明は、シートの第 1 方向のカールを補正する第 1 カール補正手段と、前記第 1 カール補正手段の下流に設けられ、シートの前記第 1 方向と反対の第 2 の方向のカールを補正する第 2 カール補正手段とにより、カールを補正しながらシートを搬送するシート搬送装置において、前記第 1 カール補正手段のカール補正量及び前記第 2 カール補正手段のカール補正量を決定するカール補正量決定手段と、前記カール補正量決定手段によって決定されたカール補正量を修正するために、修正するカールの方向とカール量とに係る修正値を手動入力するための入力部と、を備え、前記カール補正量決定手段は、前記入力部に入力された修正値を分配して前記カール補正量決定手段が決定した前記第 1 カール補正手段のカール補正量及び前記第 2 カール補正手段のカール補正量を変更することを特徴とするものである。